

この文章は当院において2012年1月1日～2020年12月31日までに当院で膵・消化管神経内分泌腫瘍に対して診療を行った患者さんを対象とし、カルテを遡って調査する観察研究の情報公開を目的とした資料です。

## 「当院における膵・消化管神経内分泌腫瘍治療の検討」

### 研究の概要（研究の背景と目的）

神経内分泌腫瘍は、ホルモンなどを作る機能を持った神経内分泌細胞からできる腫瘍です。神経内分泌腫瘍は膵臓をはじめ、消化管（胃・十二指腸・小腸・虫垂・大腸）、肺など様々な臓器から発生します。神経内分泌腫瘍は年間人口10万人に3-5人に発生する稀な疾患とされていますが、近年患者が増加傾向にあることが言われています。

神経内分泌腫瘍はホルモンを産生して様々な症状を認めることがあり、またNENの中でも悪性度の高い神経内分泌癌は極めて予後不良であることが多く、稀少疾患であるにも関わらず多彩な臨床所見を認めるため、治療選択に難渋することが多い現状です。

当院では膵・消化管ともに神経内分泌腫瘍の治療経験があり、内視鏡治療・手術・化学療法など様々な診療を行ってきました。

そこで今回膵・消化管神経内分泌腫瘍の各治療（内視鏡治療・手術・化学療法）の成績を検討したいと考えています。この研究の成果は、膵・消化管神経内分泌腫瘍における治療の安全性や今後の治療方針の確立に役立つものと期待されます。

### 調査の対象と内容

調査対象となるのは2012年1月1日～2020年12月31日までに当院で膵・消化管神経内分泌腫瘍で治療を行った患者さんです。調査の内容は、患者背景、原発巣、血液・画像検査所見、病理所見、治療方法、治療成績について調査をします。

調査の方法は、診療録の記載をもとにして過去にさかのぼって調査いたします。

### 調査成果の公表に際しては患者さんの個人情報を守られること

調査対象となるすべての患者さんは、お名前、住所などのプライバシーに関する情報が直接取り扱われることはありません。本調査における当院の個人情報管理は、研究責任者が責任を持って管理します。また、調査したデータは当院消化器内科にて集計後に解析を行います。解析結果については医学的な専門学会や専門雑誌などに報告公表することがありますが、いずれの場合でも患者さんのお名前などの個人情報は守られます。

### 研究への参加に異議がある場合

調査対象に含まれる患者さんで、調査に同意されない患者さんは、下記連絡先までお申し出ください。その際、収集したデータは取り消しさせていただきます。ただし、患者さんのデータがすでに集計し、解析されている場合につきましては、取り消しができないこともありますので、ご了承ください。

また、この件につきましてご不明な点、ご質問がございましたら、下記まで遠慮なくお尋ねください。

調査責任者及び調査に関するお問い合わせ先

研究責任者

嬉野医療センター 消化器内科 医師 日野直之

研究分担者

嬉野医療センター 消化器内科 内科系診療部第一部長 網田誠司

連絡先

嬉野医療センター 消化器内科

〒843-0393 嬉野市嬉野町大字下宿甲 4279-3-

TEL:0954-43-1120

FAX:0954-42-2452

E-mail: hino.naoyuki.ka@mail.hosp.go.jp

なお、この研究内容は、嬉野医療センター倫理委員会で審議を受け、医学的、倫理的に適切であることが承認されたものであります。また、本委員会における審査の内容や委員会に関する情報は嬉野医療センターのホームページにおいてご覧いただくことができます。

(URL : <http://www.uresino.go.jp/general/department/chiken/gaiyo.html>)